

平成 30 年 12 月 26 日

各 位

会社名 国際石油開発帝石株式会社  
代表者名 代表取締役社長 上田 隆之  
(コード番号 1605 東証第一部)  
問合せ先 広報・IR エグゼクティブ・マネージャー 細野 宗宏  
電話番号 03-5572-0233

オーストラリア プレリユード FLNG プロジェクト生産開始について

国際石油開発帝石株式会社（以下、当社）は、子会社のINPEX Oil & Gas Australia Pty Ltd（以下、IOGA社）を通じて、オーストラリア連邦西豪州沖合WA-44-L鉱区にて、操業主体（オペレーター）であるShell社及びパートナー各社と共に、プレリユードFLNGプロジェクト（以下、本プロジェクト）に参画しておりますが、今般、生産井からのガス生産を開始しましたので、お知らせいたします。



プレリユード FLNG 船

本プロジェクトは、西豪州ブルーム市から北北東約475キロメートルの沖合に位置するプレリユードガス田及びコンチェルトガス田を開発し、洋上液化施設（FLNG船）にてガスを分離・液化する当社にとって初めて参画するFLNGプロジェクトです。井戸から生産されたガスは、FLNG船にて液化天然ガス（LNG）、液化石油ガス（LPG）、コンデンセートに分離・液化処理された後、順次FLNG船から直接タンカーに船積みして出荷される予定です。

本プロジェクトから生産されるLNGのうち、IOGA社権益相当分のLNGについては、JERA（東京電力・中部電力の合弁会社）に対して年間約56万トン、静岡ガスに対して年間約7万トン（いず

# 国際石油開発帝石株式会社

## INPEX CORPORATION

れもプラトー数量)をそれぞれ販売する予定\*であり、日本のエネルギー安定供給に貢献するものと考えております。

\*2014年5月29日付で公表

<https://www.inpex.co.jp/news/pdf/2014/20140529.pdf>

当社は今後も、オペレーターとして生産操業行なっているオーストラリアのイクシスLNGプロジェクト、インドネシアにて開発を進めるアバディLNGプロジェクトをはじめ、国内外で需要が高まるクリーンエネルギーとしての天然ガス（LNGを含む）事業に多数参画しており、「ビジョン2040」で掲げた事業目標の一つである、アジア・オセアニアを中心とした地域でガス開発・供給の主要プレイヤーになることを目指してまいります。

なお、本件による今期連結業績への影響は軽微であります。

以上

### 【本プロジェクトの概要】

プロジェクト名	プレリウドFLNGプロジェクト	
最終投資決定	2011年5月	
当社権益取得	2012年6月	
権益比率	当社	17.5%
	Shell（オペレーター）	67.5%
	KOGAS	10%
	OPIC	5%
生産能力	LNG	360万トン/年
	LPG	40万トン/年（ピーク時）
	コンデンセート	130万トン/年（ピーク時）
FLNG船 建設コントラクター	Technip Samsung Consortium（TSC）	

### 【本プロジェクトの位置図】

